

○研究課題 (テーマ)		ものづくり研修会・コンテスト in パステル工房	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	教授	真田 和昭
			パステル工房企画管理運営委員会委員 パステル工房スタッフおよび兼任スタッフ
研究結果の概要			
<p>○実施内容</p> <p>例年実施しているものから、さらに多くの学生にもものづくりを体験してもらえるよう、以下の点を見直したうえで実施した。</p> <p>①名称を「チャレンジ the ものづくり」に変更し、コンテストを廃止することで参加のハードルを引き下げた。</p> <p>②使用する機械ごとに 2 コースを実施していたが、イメージが湧きにくいことから、製作物を 4 種類用意し、製作したいモノを選んでもらう形式とした。</p> <p>③8月下旬から9月上旬に2～3日間の日程で実施していたが、より参加しやすいよう、9月下旬に1日から参加できるよう変更した。</p> <p>④申込みがしやすいよう、HP上に申し込みフォームを作成した。</p> <p>⑤広報はポスターのみでなく、授業前や試験後にチラシを配布した。</p> <p>○実施結果</p> <p>製作物を①風鈴(真鍮製)、②写真立て(アクリル製)、③リングピロー(真鍮製)、④小物入れ(アクリル製)として、9月19日(水)～21日(金)、9月26日(水)～28日(金)の6日間で募集を行った。参加人数は以下のとおり。</p> <p>①風鈴コース：8名(機械、知能、情報)</p> <p>②写真立てコース：9名(機械、知能、生物)</p> <p>③リングピローコース：3名(機械、知能)</p> <p>④小物入れコース：8名(機械、知能、情報)</p> <p>合計のべ28名(実人数26名)の学生が参加した(H29年度：24名)。</p> <p>アンケートの結果より、実施方法や広報には改善の余地があるものの、幅広い学生に技能習得の契機を十分に提供できたものと思われる。</p>			
今後の展開			
<p>今後も、ものづくり研修会・コンテストの実施により、ものづくりの基礎的技術の習得とその技能向上を図り、研究活動に活かすことができるように定着を促進する。</p>			